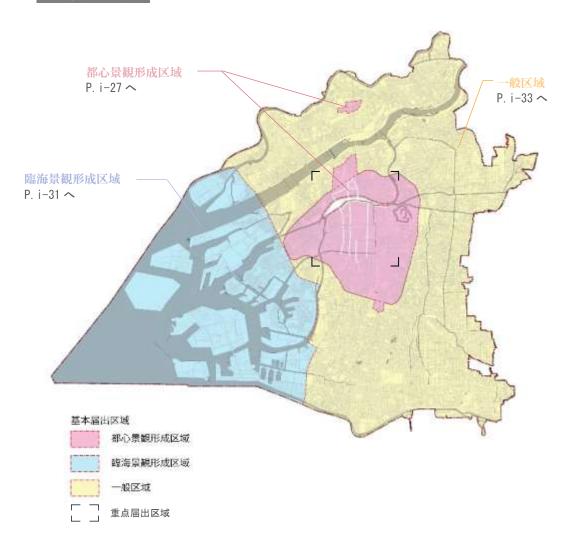
3 景観計画区域内の景観形成方針及び建築物・工作物の 景観形成基準と解説

(1)景観計画区域内の景観形成方針及び建築物・工作物の景観形成 基準一覧

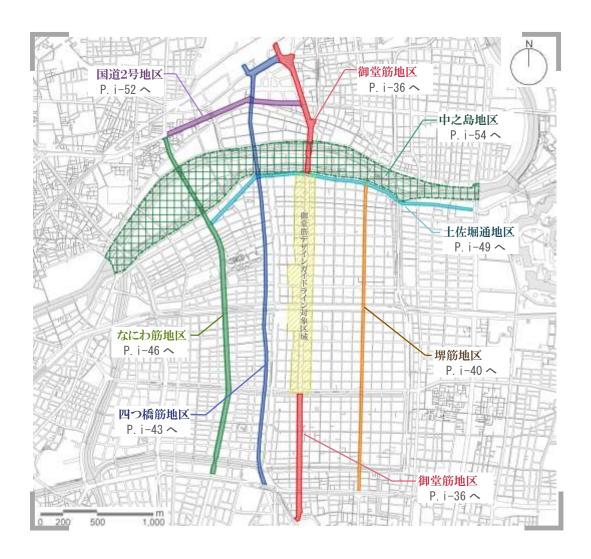
ここでは、区域ごとの景観形成方針及び景観形成基準一覧を掲載しています。 また、i-57以降に「(2)景観形成基準の解説」、i-81以降に「(3)典型的な敷地・ 建築条件における景観形成の例」を掲載しています。あわせて確認しましょう。

区域別 景観形成方針・基準一覧の掲載箇所

基本届出区域



重点届出区域



<本ページ以降の使い方>

- ・区域ごとに「景観形成方針」と「景観形成基準」を記載しています。
- ·「景観形成基準」の『例示』及び『解説』の掲載ページを表中右端に記載しています。

例示i-●:例示ページを参考に検討しましょう。

解説i-●:解説ページを確認しましょう。

都心景観形成区域

【景観形成方針】

都心景観形成区域全体にかかる方針

都心らしいまちの魅力を感じさせる景観の形成

敷地際における歩行者空間、緑地の創出や、低層部デザインの工夫などにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしいまちの魅力を感じさせる景観を形成する。

駅前空間周辺では、特にオープンスペースや緑が確保された、ゆとりを感じさせる空間を形成する。

建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

豊かな暮らしの魅力を感じさせる心地よい生活景観の形成

住宅地では、生き生きとした日常の暮らしや様々な活動の営みを感じさせる心地よい景観を形成する。

周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

地域に根差した商店街などでは、人々の活気を感じることのできる親しみとにぎわいの景観を形成する。

大規模な土地利用転換が図られるエリアでは、これまでの暮らしの歴史を踏まえ、周辺との調和に配慮した景観を形成する。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については集約化するなど、周辺の交 通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋 外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある市街地景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられる まちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、住宅地では生活に安らぎを与える配慮、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、ターミナル周辺では来街者を迎え入れる雰囲気づくり、駅前や幹線道路沿道の商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

護岸や橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

○まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流できる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

都 〇「大通り(広幅員道路)」のまちなみ形成 大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である 「大通り」の特性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを 形成する。

○「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみを形成する。

○坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成

坂の下からよく視認できる建築物については、坂の下からの見え方にも配慮し、周辺との調和や圧迫感の 軽減などについて、配置・意匠等を工夫する。

周辺に寺社や旧街道筋沿いのまちなみ・古墳など、古代からの歴史が蓄積された歴史的景観資源が残されている場合は、できるだけこれらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮し、落ち着いた、深みのあるまちなみを形成する。

地域に残された緑はできるだけ保存し、また見せ方を工夫するとともに緑との調和に配慮したまちなみ景 観を形成する。

町

〇ランドマークの魅力を感じさせる眺望景観の形成

大阪城天守閣の眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、大阪の象徴的な眺望景観を創出する。

大阪城天守閣への眺望を保全できるよう努める。

〇ランドマークをいかした夜間景観の形成

大阪城天守閣を際立たせるとともに、周辺の歴史的景観資源との調和、来訪者を迎え入れる雰囲気づくり、活気・にざわいと秩序との共存など、ランドマークをいかした夜間景観の創出に努める。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成

道頓堀川東部(浮庭橋以東): 建築物や敷地は、水辺の遊歩道や橋上、対岸の建築物からの眺めを意識し、水上からの「見え」に配慮するとともに、個性を持ちつつ周辺とも協調性のあるデザインとする。また、低層部は遊歩道を行く人々が気軽に出入りできるような開放性のあるものとし、河川、水辺、遊歩道と沿川のまちとが一体となったにぎわいのある水辺のまちなみを形成する。

道頓堀川西部 (浮庭橋以西):水辺に面する建築物は橋上や水上からの眺めを意識したデザインの工夫や、周囲の建築物にも配慮し、敷地の植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるように努めることにより、ゆとりと安らぎの感じられる開放的な水辺のまちなみを形成する。

道頓堀川沿川

「川沿いの魅力」を高める

道頓堀川東部(浮庭橋以東):水辺の遊歩道は、沿川の建築物が川に向きやすいよう、また、水辺の 回遊性を高めるため橋梁や沿川の道路などからアクセスしやすいよう整備しており、河川の水質浄 化にも取り組みながら、さらなる水辺の交流空間の形成と、ミナミの繁華街にふさわしいにぎわい の創出に努める。

道頓堀川にかかる橋梁は、魅力ある水辺空間を構成する構造物の一つとして、水辺からの眺めにも配慮したデザインにするとともに、水辺空間の視点場のひとつとして人々が憩い、集うことのできる場となるよう努める。

道頓堀川西部(浮庭橋以西): 広がりのある開放的な河川の特徴をいかし、ゆとりと安らぎを感じられる水辺空間の形成や河川の水質浄化などに努める。また、橋梁など構造物のデザインは、魅力ある水辺空間の構成要素の一つとして水辺からの眺めや、中景、遠景も意識したデザインの工夫に努める。

「水辺の魅力」を高める

良好な河川水質や、夜間も安全で快適な水辺の連続した歩行者空間及び周辺から水辺へのアプローチの確保などに努めるとともに、周辺と調和のとれた建築物低層部や敷地のデザインとすることなどにより、「水辺の魅力」を高め、人々が伝統行事に集い、川沿いのまちなみの変化が楽しめる、やすらぎや親しみある水辺空間を形成する。

八川沿川

河

Ш

「川沿いのまちなみ」の形成

川岸や橋上などの眺める場所や季節、時間帯によって変化する多様で、美しい眺望を有する水辺の 景観特性をいかすと共に、川沿いの建築物や構造物などの輪郭や中高層部のデザインについて、周 辺とのバランスに配慮することにより、水・緑とまちが調和した「川沿いのまちなみ」を形成す る。

「水辺をいかしたまちなみ」の形成

御堂筋以西:周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化に努め、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

御堂筋以東:水辺に面した建築物や構造物のデザインの工夫に努めることにより、水・緑や歴史的建築物・構造物などと調和した、まとまりのある川沿いのまちなみを形成し、水の都大阪の歴史や伝統を受け継ぐ風格ある都市景観を形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

* 水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

〇歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

道路

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみを 形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。 道路からの見え方に配慮し、最外広生物を地区の良好かまちたみの形成に答するものとし、建築物と最外広

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広 告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

【景観形成基準一覧】

【景観形成基準	生一覧 】			
共通事項 (建築				
		けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮	例示	
		·踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のま	i-118,119	
	とれたものと	:なるよう努める。		
建築物の建築等	#/. ! ! ! + . ~ . #			
		地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和するよ	例示	
	り、形態息	匠を工夫する。	i-118,119	
	国知が任国	住宅系用途の市街地では、壁面後退や緩衝緑地帯の設置など、周辺との間に		
配置	空地を設け、周辺への圧迫感の軽減に努める。		解説 i-82	
	上町台地	接道部に空地を設け、緑化に努める。	解説 i-88	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
	河川	は、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。	解説 i −109	
	道路	建築物の連続性に配慮するとともに、接道部に空地を設け、快適な歩行者	解説 i-88	
		空間の確保又は緑化に努める。	MANUEL OO	
		密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、ま	例示 i-118.119	
	ちのにさわ	いを生み出すよう工夫する。	1-110,119	
1階部の形態		とんぼりリバーウォーク沿いの敷地では、遊歩道に面した階に川側へのア クセスを確保するなど、建築物と河川空間とがつながるような形態意匠と	解説 i-90	
	河川	なるよう工夫する。	月午前に1一岁し	
	7~3 711	中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するなど、		
		にぎわいを生み出すよう工夫する。	解説i −109	
	外壁は、建	築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴史	例示	
	的景観資源	がある場合は形態意匠を工夫する。	i-118,119	
	建築物の正	面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築物	解説 i-91	
	の側面や背面の形態意匠も工夫する。			
	大規模な壁面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意匠			
	を工夫する。 建築物が主要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい場			
		安坦鉛の父左は、畑曲部及の矢さヨにり等、多くの人の倪稼を集めやりい場で場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	解説 i-92	
	坂の下からの見え方を音識1 辟面の分節化や緑化などに上り圧迫威を軽			
	上町台地	減させるなど、建築物の形態意匠を工夫する。	解説 i-93	
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣を象徴的に望めるよう、天守閣との関係を	解説 i −104	
	八叔父	意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	門底1 104	
外壁		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを	解説 i-93	
		設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。		
		堂島川、土佐堀川、大川、道頓堀川及び東横堀川など舟運ルートが整備さ れている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となる	F1 -	
		れている例用信用の敷地では、信用のようなみと調和した形態息圧となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と	例示 i-118	
		調和のとれたデザインとなるよう努める。		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
		の部分は、建築物のファサードを水辺側に向けるなど魅力ある形態意匠と	解説i −110	
		なるよう工夫する。		
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
		の外壁は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識し	解説 i −111	
		たデザインとするなど、形態意匠を工夫する。		
	道路	景観上主要な道路からの見え方を意識して、沿道のまちなみと調和した形態 態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	例示 i-118.119	
	建筑版全体	と調和するよう、形態意匠を工夫する。	例示	
バルコニー等			i-118,119	
· ·// — •		ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等がう工夫する。	解説 i-93	
		ウエスする。 材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景		
Links		うことのないものとするよう努める。	解説 i-94	
材料		などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努	America	
	める。		解説 i-94	
		なみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。	例示 i-118,119	
色彩	/ ***	出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。	解説 i-95	
		6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等	解説 i-95	

解説 i-82

	7017 III // ·	/ 5 刀 V/ 1 / 小側 こ タ る。	
	アクセント める。	カラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努	解説 i-97
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した落ち着いた色 彩とする。	解説i -106
	大阪城	主要な視点場からの大阪城天守閣への眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解 说i −106
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解説i −112
屋外階段		や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむ 合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を	解説 i-99
	配管設備な	さば、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	解説 i-99
建築設備	隣接する公 は、ルーバ	冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、主たる道路や 園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合 、一等により目隠しをするなど修景を工夫する。	解説 i-99
	るよう努め	テナ等は、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置する。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99
	や敷地内の	ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置場等は、周辺景観 建築物等と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99
		・体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ にで設置位置を工夫する。 主要な視点場から大阪城天守閣を望む眺望範囲への広告物やサインの設置	例示 i-118,119
付属施設	大阪城	については、必要最低限とし建物中高層部への設置を避けるよう努める。 主要な視点場からの眺めに配慮し、屋上の広告物やサインは建築物と一体	解説 i −107
	河川	とするよう形態意匠を工夫する。 中之島等の敷地で河川に面する建築物について、主要な視点場から景観資源を望む眺望範囲への広告物やサインの設置は必要最低限とし、特に建物中高層部への設置を避けるよう努める。 主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の屋上の広告物やサインは、建築物と一体とするよう形態意匠を工夫する。	解論 i −113
		辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して高木・中木・ に配置する。	解説 i-99
	上町台地	地域に残された緑と調和するよう緑化に努める。	解説 i-99
	大阪城	主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城公園の緑と調和するよう、樹種も考慮し緑化に努める。	解 说 i −108
植栽		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣への眺望を遮蔽しないような配置計画に努める。	解说 i -108
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮し、水辺の潤いやゆとりある緑化に努める。また、歴史的景観資源への眺望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の工夫等に努める。	角電 兑 i −114
塀・柵	など、周辺	に面して、塀又は柵を設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とする 2景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。	例示 i-118
夜間景観	まちなみの 周辺環境に 夜間照明を	:行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の ・風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 ・配慮した輝度とする。 ・主たる道路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和する	夜間ガイド ライン VI-18 夜間ガイド
	公園や広場	機の形成に努める。 などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・ するよう努める。	ライン VI-18,21 夜間ガイド ライン VI-20

彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の

の素材感のある自然材料は除く。)

見付面積の5分の1未満とする。

		、建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、 1するよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23
	ि ४ ८ ८ मिम्परी	主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した配光や色温度 により、大阪城天守閣を際立たせる夜間景観の形成に努める。	VI-16,23 夜間ガイト ライン VI-27
		主要な視点場からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップにより 大阪城天守閣への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出 に努める。	夜間ガイト ライン VI-28
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲に、広告物やサインを設置し 照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見 え方に留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイト ライン VI-29
		主要な視点場からの眺めに配慮し、屋上の広告物やサインについて照明を 施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただ し、文字のみの場合は可とする。	夜間ガイト ライン VI-29
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイト ライン VI-32
	河川	大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の部分について、主要な視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイト ライン VI-34
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の屋上の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。	夜間ガイト ライン VI-34
工作物の建設等			
配置等	主たる道路	世地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 「今隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属す	解説 i-101
	る駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。		
	工作物の正面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。		
		iは、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。	解説 i−101
		かなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。	-
		・体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ でにや設置位置を工夫する。	-
		られが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ ないものとするよう努める。	解説 i−101
		主要な視点場から大阪城天守閣を象徴的に望めるよう、天守閣との関係を 意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	-
	_L_n= i_b	主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した落ち着いた色彩とする。	角電 兑 i −106
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめるものとする。	解说 i −106
外観		主要な視点場から大阪城天守閣を望む眺望範囲への広告物やサインの設置に ついては、必要最低限とし、特に工作物上部への設置を避けるよう努める。	角電 兑 i −107
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-101
		堂島川、土佐堀川、大川、道頓堀川及び東横堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	-
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめるものとする。	解说 i −112
		中之島等の敷地で河川に面する工作物について、主要な視点場から景観資源を望む眺望範囲への広告物やサインの設置は必要最低限とし、特に工作	角電光 i −113

	_			
		物上部への設置を避けるよう努める。		
	道路	景観上主要な道路からの見え方を意識して、沿道のまちなみと調和した形	_	
	但此	態意匠となるようファサードデザインを工夫する。		
	照明演出を	行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの	夜間ガイド	
	風景の一部	3となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に	ライン VI-18	
	配慮した輝	24-7-2		
	光のまちつ	らくり推進委員会での取り組みを踏まえ、護岸や橋梁等の良好なライトアッ	夜間ガイド ライン	
	プに努める	プに努める。		
	周辺に近代	は建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、	夜間ガイド	
	それと調和	1するよう配光や色温度に配慮する。	VI-18,23	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した配光や色温度		
		により、大阪城天守閣を際立たせる夜間景観の形成に努める。	フ1フ VI — 27	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップによ	夜間ガイド	
		り大阪城天守閣への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演	ライン	
		出に努める。	VI - 28	
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲に、広告物やサインを設置	夜間ガイド	
		し、照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場から	ライン	
夜間景観		の見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。	VI – 29	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、工作物上部の広告物やサインについて	夜間ガイド	
		照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。	夜間ガイド ライン VI - 28 夜間ガイド	
		ただし、文字のみの場合は可とする。	VI - 29	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に	夜間ガイド	
		面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅	ライン	
		力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	VI - 32	
		大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する工作物の部分について、主要		
		な視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し、照明を		
	河川	施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に		
		留意し、目立たないような工夫に努める。		
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に	T- 88 42 414	
		面する工作物上部の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照式	夜間ガイド ライン	
		は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は	VI −34	
		可とする。		
(図音車佰)				

(留意事項) ・ 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。

Š i

臨海景観形成区域

【景観形成方針】

臨海景観形成区域全体にかかる方針

開放的でうるおいのあるウォーターフロント景観の形成

海の玄関口にふさわしい開放的で水辺に映える景観となるよう、建築物のデザインや色彩等に配慮する。 水辺に接する集客施設については、できるだけ水辺へのアクセスを確保するなど、うるおいを感じる空間づくりを行う。

海上や対岸、橋上からの見え方にも配慮し、全体としてまとまりが感じられるシルエットにするなど、建築物のデザインや色彩に配慮する。

大規模土木構造物や建築物からなる港らしい景観の形成

大規模な橋梁や港湾構造物などは、周囲と調和した港らしい大スケールなパノラマ景観を形成する。

大規模な工場や物流倉庫が立地するエリアでは、周辺に住宅や商業施設など様々な用途・機能が混在していることを踏まえ、周囲と調和した港らしい景観を形成する。

豊かな暮らしの魅力を感じさせる心地よい生活景観の形成

住宅地では、生き生きとした日常の暮らしや様々な活動の営みを感じさせる心地よい景観を形成する。

周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

地域に根差した商店街などでは、人々の活気を感じることのできる親しみとにぎわいの景観を形成する。

大規模な土地利用転換が図られるエリアでは、これまでの暮らしの歴史を踏まえ、周辺との調和に配慮した 景観を形成する。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある市街地景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。 ランドマークとなる大規模建築物を中心とした魅力あるシルエットの形成などにより、港らしい眺望景観を 創出する。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、住宅地では生活に安らぎを与える配慮、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、客船ターミナル周辺では来街者を迎え入れる雰囲気づくり、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

ランドマークとなる大規模建築物などの魅力的なライトアップにより、港らしい夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の 良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

* 水辺の魅力を高める夜間景観の形成

河

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

【景観形成基準】

共通事項(建築			
良好な都市景観 したうえで、景	の形成に向け観形成方針を	けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮 と踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のま	例示 i-120,121
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		こなるよう努める。	1,
建築物の建築等	1		
配置	よう、形態	E地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する 意匠を工夫する。	例示 i-120,121
HO (E.		は宅系用途の市街地では、壁面後退や緩衝緑地帯の設置など、周辺との間 はけ、周辺への圧迫感の軽減に努める。	解説 i-82
	外壁は、建築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴 史的景観資源がある場合は形態意匠を工夫する。		
	1	面だけでなく、海上、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、 面や背面の形態意匠も工夫する。	解説 i-91
	大規模な壁 匠を工夫す	を面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意でる。	解説 i-92
		要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい でする場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	解説 i-92
外壁	は魅力的な	び場からの眺めに配慮し、ランドマークとなるような大規模建築物について シルエットを形成するとともに、周囲の建築物等との調和や周囲の眺望を カイラインを形成するよう形態意匠を工夫する。	解说i −115
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93
	河川	安治川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-
	建築物全体	」る。 ぶと調和するよう、形態意匠を工夫する。	例示:-121
バルコニー等	手摺に透明	ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等 よう工夫する。	解説 i-93
	外壁などの材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により 景観をそこなうことのないものとするよう努める。		
材料	外壁や屋根などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努める。		解説 i-94
	周辺のまちなみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。		
		出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。	解説 i-95
色彩	色彩は彩度6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のある自然材料は除く。)		
	彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の見付面積の5分の1未満とする。		解説 i-82
	る。	カラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努め	解説 i-97
屋外階段	ない場合は	や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99
	やむを得す	さどは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 で で で で で で で で で が と が と 調和するよう、 形態意匠を工夫する。	例示i-121 解説 i-99 解説 i-99
建築設備	高架水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。		
	テレビアン	デナ等は、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置 める。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99
	駐車場(サ	ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置場等は、周辺景観)建築物等と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99
付属施設	建築物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、形態意匠や設置位置を工夫する。		
		び場からの眺めに配慮し、ランドマークとなるような大規模建築物について、 物やサインは建築物と一体とするよう形態意匠を工夫する。	解説i −116
植栽	植栽は、周	辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して高木・中木・	例示

	低木を適切	に配置する。	i-120,121 解說 i-99	
塀・柵		に面して、塀又は柵を設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とする 景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。	例示 i-120,121	
	まちなみの 周辺環境に	行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の 風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 配慮した輝度とする。 主たる道路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和する	夜間ガイド ライン VI-18 夜間ガイド	
	よう夜間景 公園や広場	観の形成に努める。 などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・ するよう努める。	ライン VI-18,21 夜間ガイド ライン	
	周辺に近代それと調和	建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、 するよう配光や色温度に配慮する。	VI-20 夜間ガイド ライン VI-18,23	
夜間景観	主要な視点場からの眺めに配慮し、ランドマークとなる大規模建築物などの良質なライティング、水面への映りこみに配慮した照明などにより、港に映える夜間景観の形成に努める。			
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32	
	河川	大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の部分について、主要な視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイド ライン VI - 34	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物の屋上の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照 式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合	夜間ガイド ライン VI - 34	
工作物の建設等	<u> </u>	は可とする。		
	T	地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説i-101	
配置等	る駐車場等	や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属すがある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。	解説 i-101	
	工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。			
	工作物の正面だけでなく、海上、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、 工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。			
	大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。			
	周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。		解説i-101 -	
	工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、形態意匠や設置位置を工夫する。		-	
外観	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこなうことのないものとするよう努める。		解说i-101	
7 I EUL	的なシルエ	場からの眺めに配慮し、ランドマークとなるような工作物については魅力ットを形成するともに、周囲の建築物等との調和や周囲の眺望を意識したンを形成するよう形態意匠を工夫する。	-	
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-101	
	河川	安治川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-	
	照明演出を行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景 の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した 輝度とする。		夜間ガイド ライン VI-18	
夜間景観	光のまちづくり推進委員会での取り組みを踏まえ、橋梁等の良好なライトアップに努める。			
		建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それよう配光や色温度に配慮する。	VI - 38 夜間ガイド ライン VI - 18,23	
		場からの眺めに配慮し、ランドマークとなる工作物の良質なライティング、水 こみに配慮した照明などにより、港に映える夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 36	

[・] 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。

一般区域

【景観形成方針】

一般区域全体にかかる方針

豊かな暮らしの魅力を感じさせる心地よい生活景観の形成

住宅地では、生き生きとした日常の暮らしや様々な活動の営みを感じさせる心地よい景観を形成する。

周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

地域に根差した商店街などでは、人々の活気を感じることのできる親しみとにぎわいの景観を形成する。

大規模な土地利用転換が図られるエリアでは、これまでの暮らしの歴史を踏まえ、周辺との調和に配慮した 景観を形成する。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある市街地景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、住宅地では生活に安らぎを与える配慮、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、駅前や幹線道路沿道の商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

○坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成

坂の下からよく視認できる建築物については、坂の下からの見え方にも配慮し、周辺との調和や圧迫感の 軽減などについて、配置・意匠等を工夫する。

周辺に寺社や旧街道筋沿いのまちなみ・古墳など、古代からの歴史が蓄積された歴史的景観資源が残されている場合は、できるだけこれらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮し、落ち着いた、深みのあるまちなみを形成する。

地域に残された緑はできるだけ保全し、また見せ方を工夫するとともに緑との調和に配慮したまちなみ景 観を形成する。

○ランドマークの魅力を感じさせる眺望景観の形成

大阪城天守閣の眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、大阪の象徴的な眺望景観を創出する。

大阪城天守閣への眺望を保全できるよう努める。

〇ランドマークをいかした夜間景観の形成

大阪城天守閣を際立たせるとともに、周辺の歴史的景観資源との調和、来訪者を迎え入れる雰囲気づくり、 活気・にぎわいと秩序との共存など、ランドマークをいかした夜間景観の創出に努める。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の 良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

河川

上町

大川沿川

良好な河川水質や、夜間も安全で快適な水辺の連続した歩行者空間及び周辺から水辺へのアプローチの確保などに努めるとともに、周辺と調和のとれた建築物低層部や敷地のデザインとすることなどにより、「水辺の魅力」を高め、人々が伝統行事に集い、川沿いのまちなみの変化が楽しめる、や

「川沿いのまちなみ」の形成

すらぎや親しみある水辺空間を形成する。

「水辺の魅力」を高める

川岸や橋上などの眺める場所や季節、時間帯によって変化する多様で、美しい眺望を有する水辺の景観

特性をいかすと共に、川沿いの建築物や構造物などの輪郭や中高層部のデザインについて、周辺とのバランスに配慮することにより、水・緑とまちが調和した「川沿いのまちなみ」を形成する。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

【景観形成基準】

景観形成基	準】		
共通事項(建	築物・工作物))	
慮したうえで、	、景観形成方針	けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考 計を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺の のとなるよう努める。	例示 i-122,123
建築物の建築	等		
	よう、形態	地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する意匠を工夫する。	例示 i-122,123
配置		住宅系用途の市街地では、壁面後退や緩衝緑地帯の設置など、周辺との間け、周辺への圧迫感の軽減に努める。	解説 i-82
	上町台地	1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	解説 i-88
外壁		築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴 源がある場合は形態意匠を工夫する。	例示 i-122,123
	1	面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築 背面の形態意匠も工夫する。	例示 i-122,123 解説 i-91
	匠を工夫す	•	例示 i-123 解説 i-92
		要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすいする場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	例示 i-123 解説 i-92
外壁	上町台地	坂の下からの見え方を意識し、壁面の分節化や緑化などにより圧迫感を軽減 させるなど、建築物の形態意匠を工夫する。	例示 i-122,123 解説 i-93
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣を象徴的に望めるよう、天守閣との関係 を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	解説 i -104
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93
	河川	大川や安治川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-
	建築物全体	と調和するよう、形態意匠を工夫する。	例示 i-122
バルコニー等	手摺に透明	ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等 よう工夫する。	解説 i-93
材料		材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により なうことのないものとするよう努める。	解説 i-94
<u>ተሳ ቶት</u>	外壁や屋根7る。	などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努め	解説 i-94
	周辺のまちなみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。		例示 i-122,123 解説 i-95
	周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。		
	色彩は彩度6以下(日本工業規格 28721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のある自然材料は除く。)		
色彩	彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面 の見付面積の5分の1未満とする。		
	アクセント: る。	カラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努め	解説 i-97
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した落ち着いた色彩とする。	解説 i −106
	大阪城	主要な視点場からの大阪城天守閣への眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解説 i -106
屋外階段	主たる道路	や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。や	解説 i-99

	むを得ない	場合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意	
	歴を工大する。 配管設備などは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 やむを得ず露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。		
建築設備	や隣接する	冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、主たる道路 公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない 一バー等により目隠しをするなど修景を工夫する。	解説 i- 99
		テナ等は、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置する。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99
		ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置場等は、周辺景観 建築物等と調和するよう、形態意匠を工夫する。	例示 i-122,123 解説 i-99
从民长 乳		体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ 匠や設置位置を工夫する。	例示 i-123
付属施設	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣を望む眺望範囲への広告物やサインの設置については、必要最低限とし建物中高層部への設置を避けるよう努める。	解説 i -107
		主要な視点場からの眺めに配慮し、屋上の広告物やサインは建築物と一体とするよう形態意匠を工夫する。	解説 i -107
	植栽は、周辺	辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して高木・中木・ に配置する。	例示 i-122,123 解説 i-99
	上町台地	地域に残された緑と調和するよう緑化に努める。	解説 i-99
植栽	大阪城	主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城公園の緑と調和するよう、樹種も考慮し緑化に努める。 主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣への眺望を遮蔽しない	解説 i -108
	ナナッ 学問	ような配置計画に努める。	解説 i -108
塀・柵	など、周辺	に面して、塀又は柵を設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とする 景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。	例示 i-123
	照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の まちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 周辺環境に配慮した輝度とする。		
	夜間照明を主たる道路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう夜間景観の形成に努める。		
	公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・ 安心に寄与するよう努める。		
		建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、 するよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した配光や色温 度により、大阪城天守閣を際立たせる夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI-27
		主要な視点場からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップにより大阪城天守閣への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努める。	夜間ガイド ライン VI - 28
夜間景観	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲に、広告物やサインを設置 し照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの 見え方に留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイド ライン VI-29
		主要な視点場からの眺めに配慮し、屋上の広告物やサインについて照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。	夜間ガイド
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32
	河川	大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物の部分について、主要 な視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し照明を 施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に 留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイド ライン VI - 34
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物の屋上の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照	夜間ガイド ライン VI - 34

		式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。	
工作物の建設等	÷		
		地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説 i-101
配置等		や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属す がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。	解説 i-101
	工作物単体	のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。	-
	物の側面や	面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作 背面の形態意匠も工夫する。	解説 i-101
		は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-101
		なみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。	-
	う、形態意	体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ 匠や設置位置を工夫する。	-
		れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ ないものとするよう努める。	解説 i-101
		主要な視点場から大阪城天守閣を象徴的に望めるよう、天守閣との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	-
外観		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した落ち着いた色彩とする。	解説 i -106
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲にアクセントカラーを用い ないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプ ルにまとめるものとする。	解説 i -106
		主要な視点場から大阪城天守閣を望む眺望範囲への広告物やサインの設置については、必要最低限とし、特に工作物上部への設置を避けるよう努める。	解説 i -107
	河川	対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。 大川や安治川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川の	解説 i-101
		まちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとと もに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-
		行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景 ることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した	夜間ガイドラ イン VI-18
	周辺に近代	建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大阪城天守閣と調和した配光や色温度により、大阪城天守閣を際立たせる夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI-27
		主要な視点場からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより 大阪城天守閣への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に 努める。	夜間ガイド ライン VI - 28
	大阪城	主要な視点場から大阪城天守閣への眺望範囲に、広告物やサインを設置し、 照明を施す場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え 方に留意し、目立たないような工夫に努める。	夜間ガイド ライン VI-29
夜間景観		主要な視点場からの眺めに配慮し、工作物上部の広告物やサインについて照明を施す場合は、内照式は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は可とする。	夜間ガイドラ イン VI-29
(留意事項)		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイドラ イン VI-32
	河川	大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する工作物の部分について、主要な 視点場からの景観資源への眺望範囲に広告物やサインを設置し、照明を施す 場合は、周辺環境に配慮した輝度とするほか、視点場からの見え方に留意し、 目立たないような工夫に努める。	夜間ガイドラ イン VI-34
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する工作物上部の広告物やサインについて、照明を施す場合は、内照式 は避け、できる限り外照式とするよう努める。ただし、文字のみの場合は	夜間ガイドラ イン VI-34
		可とする。	

⁽留意事項) ・ 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。

御堂筋地区

【景観形成方針】

御堂筋地区全体にかかる方針

大阪のシンボルストリートにふさわしい風格とにぎわいをあわせもつ街路景観の形成

大阪のシンボルストリートとして形成されてきたまちなみ景観の整備・充実を図り、風格のあるまちなみと していく。

駅前空間周辺や道頓堀周辺では、秩序あるにぎわいが表出する魅力的なまちとしていく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努め、建築物の高さは道路幅との プロポーションを配慮して計画する。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資 するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら 資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性 豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部 (原則地上3階以上) については、個性ある質の高い外観とする。

建築物の壁面を後退させることにより、花と緑のあふれた人々が憩える歩行者空間を創出する。

修景上ポイントとなる建築物や公園、河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約 化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、 屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられ るまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、ターミナル周辺では来街者を迎え入れる 雰囲気づくり、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の 形成に努める。

橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜 間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかり の創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサー ド照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流で きる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

〇「大通り(広幅員道路)」のまちなみ形成 心中

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である「大通り」の特 性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを形成する。

〇「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近 な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみ を形成する。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の 良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する

河 Ш

JΠ

「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成

道頓堀川東部 (浮庭橋以東): 建築物や敷地は、水辺の遊歩道や橋上、対岸の建築物からの眺めを 意識し、水上からの「見え」に配慮するとともに、個性を持ちつつ周辺とも協調性のあるデザイン

とする。また、低層部は遊歩道を行く人々が気軽に出入りできるような開放性のあるものとし、河 川、水辺、遊歩道と沿川のまちとが一体となったにぎわいのある水辺のまちなみを形成する。

〇水辺に映える景観の形成

「川沿いの魅力」を高める

堀川

道頓堀川東部 (浮庭橋以東): 水辺の遊歩道は、沿川の建築物が川に向きやすいよう、また、水辺 の回遊性を高めるため橋梁や沿川の道路などからアクセスしやすいよう整備しており、河川の水質 浄化にも取り組みながら、さらなる水辺の交流空間の形成と、ミナミの繁華街にふさわしいにぎわ いの創出に努める。

道頓堀川にかかる橋梁は、魅力ある水辺空間を構成する構造物の一つとして、水辺からの眺めにも 配慮したデザインにするとともに、水辺空間の視点場のひとつとして人々が憩い、集うことのでき る場となるよう努める。

「水辺をいかしたまちなみ」の形成

河 Ш

御堂筋以西:周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化 に努め、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

御堂筋以東:水辺に面した建築物や構造物のデザインの工夫に努めることにより、水・緑や歴史的 建築物や構造物などと調和した、まとまりのある川沿いのまちなみを形成し、水の都大阪の歴史や 伝統を受け継ぐ風格ある都市景観を形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配慮し、形態意 匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印 象的な顔づくりに努める。

〇歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

道

路

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみ を形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成す

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告 物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

河川

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形 成する。

【景観形成基準】

共通事項(建築物・工作物)

良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考 慮したうえで、景観形成方針を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺 のまちなみと調和のとれたものとなるよう努める。

車の出入口は、原則として当該街路に面して設けない。

例示 i-124.125

解説 i-89

解説 i-90

建築物の建築等

1階の外壁(原則として柱及び建築物に附属する塀を含む)は当該街路から(隅切部 分は、同一街区内における隅切を除いた当該街路を延長した線から)2m以上後退す るか、又は、これに相当する面積のオープンスペース(ピロティを含む)を当該街路 沿いに設け、その部分は歩行者空間とする。なおその部分は花や緑の設置に努める。 解説 i-83 ただし、敷地規模や敷地形状により上記により難いものは、緩和することができる。 上記により設けた歩行者空間は、歩行上支障のない範囲で、一部を緑地とすることが できる。また公共歩道や隣接敷地内の歩行者空間との間に段差を設けないよう努める。 敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する 例示 よう、形態意匠を工夫する。 i-124,125 主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築 河川 解説 i -109 物は、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。 建築物の連続性による見通し景観に配慮するとともに、接道部に空地を 解説 i-88 道路 設け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。 通りとの親密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、 例示 i-124.125 まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。 シャッターを設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。 解説 i-89 1階部の形態

とんぼりリバーウォーク沿いの敷地では、遊歩道に面した階に川側へのア

クセスを確保するなど、建築物と河川空間とがつながるような形態意匠と

配置

		なるよう工夫する。	
		中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するな	公元 兴: 4○○
	B/ 1/ 3/	ど、にぎわいを生み出すよう工夫する。	解説 i −109
高さ 建築物の間口幅	敷地前面の	当該街路幅員を2で除して得た値以上となるよう努めるものとする。	解説 i-90
及び建築面積		口幅は10m以上、建築面積は200 ㎡以上となるよう努めるものとする。	解説 i-91
		t築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴 源がある場合は形態意匠を工夫する。	例示 i-124,125
		面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築物 面の形態意匠も工夫する。	解説 i-91
外壁	大規模な壁 匠を工夫す	語面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意でる。	例示 i-124,125 解説 i-92
		要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすいでる場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	例示 i-124,125 解説 i-92
	低層部と中	『高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。	例示 i-124,125 解説 i-92
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93
外壁	·	堂島川、土佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川 の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-
71=	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、建築物のファサードを水辺側に向けるなど魅力ある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i −110
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の外壁は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	解説 i −111
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	例示 i-124,125
\$ ##		と調和するよう、形態意匠を工夫する。	例示 i-125
バルコニー等		ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等 よう工夫する。	解説 i-93
材料	景観をそこ	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年によりなうことのないものとするよう努める。	解説 i-94
	外壁や座根 る。	などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努め	解説 i-94
		なみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた、風格ある御堂筋沿道にふさ着いた色彩とする。	例示 i-124,125 解説 i-95
	周囲から突	出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。	解説 i-95
	色彩は彩度6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等 の素材感のある自然材料は除く。)		解説 i-95
色彩		える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面 での5分の1未満とする。ただし、別に定めがある場合は、これによるもの	解説 i-82
	外壁に直接貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効果的に使用し、アクセントカラーとして面積に含む。 アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努め		
	アクセント る。		解説 i-97
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解説 i −112
屋外階段		隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむ 合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠 。	解説 i-99
			1

建築設備		どは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99	
	高架水槽、 隣接する公	高架水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や 隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場 合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。		
	テレビアン	テナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置 める。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99	
付属施設	駐車場(サ 観や敷地内	ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位るよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。	解説 i-99	
	植栽は、周る。	辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置す	例示 i-124,125 解説 i-99	
植栽	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮し、水辺の潤いやゆとりある緑化に努める。また、歴史的景観資源への眺望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の工夫等に努める。	解说i -114	
塀・柵		面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的 高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とす	解説 i-99	
	照明演出を まちなみの	行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の 風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 配慮した輝度とする。	夜間ガイド ライン VI - 18	
	D -11 - 47111 - 7	当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよ の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI-18,21	
		などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・ するよう努める。	夜間ガイド ライン VI-20	
夜間景観		周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等が ある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23	
	都心 中央部	景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップ により周辺の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うな ど、夜間景観の演出に努める。	夜間ガイド ライン VI-18	
		建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出について、別に定めがある場合は、これによるものとする。	-	
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32	
工作物の建設			¢π=¥ : 4.04	
配置等	当該街路や	地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する ある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。	解説 i-101 解説 i-101	
		のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。	_	
	工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。		解説 i-101	
	大規模な面	大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。		
外観		なみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。	-	
	う、形態意	工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、形態意匠や設置位置を工夫する。		
	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ なうことのないものとするよう努める。			
外観		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。 堂島川、土佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の	解説 i-101	
	河川	敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	_	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物の	解説i −112	

		部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努			
		める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめる			
		ものとする。			
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和	_		
		した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。			
	照明演出を	行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの	夜間ガイド		
	風景の一部	となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に	ライン VI-18		
	配慮した輝度とする。				
	光のまちづくり推進委員会での取り組みを踏まえ、橋梁等の良好なライトアップに努				
	める。				
	周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、				
夜間景観	それと調和するよう配光や色温度に配慮する。				
	景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより周辺				
	の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努め				
	る。		VI-18		
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に	夜間ガイド		
	河川	面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅	ライン		
		力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	VI-32		

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

心中

-央部

河

Ш

堀川

沿川

堺筋地区

【景観形成方針】

堺筋地区全体にかかる方針

歴史あるビジネス街における落ち着きとにぎわいをあわせもつ街路景観の形成

歴史ある代表的なビジネス街として形成されてきたまちなみ景観の整備・充実を図り、落ち着きのあるまちなみとしていく。

道頓堀周辺では、秩序あるにぎわいが表出する魅力的なまちとしていく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努め、建築物の高さは道路幅とのプロポーションを配慮して計画する。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性 豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部 (原則地上3階以上) については、落ち着きのある外観とする。

建築物の壁面を後退させることにより、快適な歩行者空間を創出する。

修景上ポイントとなる建築物や河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋 外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサード照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

○まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流できる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

〇「大通り (広幅員道路)」のまちなみ形成

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である「大通り」の特性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを形成する。

〇「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみを形成する。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する

「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成

道頓堀川東部(浮庭橋以東): 建築物や敷地は、水辺の遊歩道や橋上、対岸の建築物からの眺めを意識し、水上からの「見え」に配慮するとともに、個性を持ちつつ周辺とも協調性のあるデザインとする。また、低層部は遊歩道を行く人々が気軽に出入りできるような開放性のあるものとし、河川、水辺、遊歩道と沿川のまちとが一体となったにぎわいのある水辺のまちなみを形成する。

「川沿いの魅力」を高める

i-56 Ver.2.0

道頓堀川東部(浮庭橋以東):水辺の遊歩道は、沿川の建築物が川に向きやすいよう、また、水辺の回遊性を高めるため橋梁や沿川の道路などからアクセスしやすいよう整備しており、河川の水質浄化にも取り組みながら、さらなる水辺の交流空間の形成と、ミナミの繁華街にふさわしいにぎわいの創出に努める。

道頓堀川にかかる橋梁は、魅力ある水辺空間を構成する構造物の一つとして、水辺からの眺めにも配慮したデザインにするとともに、水辺空間の視点場のひとつとして人々が憩い、集うことのできる場となるよう努める。

○歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちな みを形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成 する。

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形成する。

【景観形成基準】

道

路

共通事項(建築	物・工作物)		
	が針を踏まえ、	て、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したう 建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のまちなみと調和 る。	例示i-126
建築物の建築等			
配置	分は、同一 その部分は のは、緩和 上記により	(原則として柱及び建築物に附属する塀を含む)は当該街路から(隅切部街区内における隅切を除いた当該街路を延長した線から)2m以上後退し、歩行者空間とする。ただし、敷地規模や敷地形状により上記により難いもけることができる。 設けた歩行者空間は、歩行上支障のない範囲で、一部を緑地とすることがた公共歩道や隣接敷地内の歩行者空間との間に段差を設けないよう努める。	解説 i-83
		出は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する 意匠を工夫する。	例示i-126
	道路	建築物の連続性による見通し景観に配慮するとともに、接道部に空地を設け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。	解説 i-88
_	通りとの親密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、 まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。		
	シャッターを設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。		
1階部の形態	車の出入口は、原則として当該街路に面して設けない。		
	河川	とんぼりリバーウォーク沿いの敷地では、遊歩道に面した階に川側へのアクセスを確保するなど、建築物と河川空間とがつながるような形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-90
高さ	敷地前面の	当該街路幅員を2で除して得た値以上となるよう努めるものとする。	解説 i-90
建築物の間口幅 及び建築面積	建築物の間口幅は10m以上、建築面積は200 m以上となるよう努めるものとする。		
		築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴源がある場合は形態意匠を工夫する。	例示i-126
	建築物の正面だけでなく、当該街路等の公共空間から見える、建築物の側面や背面の 形態意匠も工夫する。		
	大規模な壁面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意 匠を工夫する。		
外壁	建築物が主要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい 場所に位置する場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。		
	低層部と中	高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。	例示i-126 解説i-92
	河川	対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93
	/+J //I	道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとと	-

		もに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	例示i-126
	建築物全体	xと調和するよう、形態意匠を工夫する。	-
バルコニー等	手摺に透明ないようエ	引ガラスを使用しないなど、道路等の公共空間から洗濯物や室外機等が見え E夫する。	解説 i-93
11.5		の材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により なうことのないものとするよう努める。	解説 i-94
材料		まなどの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう	解説 i-94
	周辺のまち	なみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた、落ち着いた色彩とする。	例示i-126 解説i-94
	周囲から突	F出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。	解説 i-94
		₹6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等)ある自然材料は除く。)	解説 i-95
色彩	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	望える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面 質の5分の1未満とする。ただし、別に定めがある場合は、これによるもの	解説 i-82
	外壁に直接	安貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効けし、アクセントカラーとして面積に含む。	-
	アクセント 努める。	カラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう	解説 i-97
屋外階段		等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、 全行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99
	を得ず露出	はどは、道路等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。やむ 日する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99
建築設備	の公共空間	冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路等 引から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー	解説 i-99
	テレビアン	隠しをするなど修景を工夫する。 /テナ等は、当該街路等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。 は建築物等との調和を図る。	解説 i-99
付属施設	駐車場(サ 観や敷地内	ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景 の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位 るよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。	解説 i-99
植栽	_	別辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置す	例示i-126
塀・柵		面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とす	解説 i-99
	照明演出を まちなみの	で行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の 回風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 正配慮した輝度とする。	夜間ガイド ライン VI-18
	p -1: 4::	と当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよ 記の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI-18,21
★88 등 48	7 7 7 77	まなどのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・ でするよう努める。	夜間ガイド ライン VI-20
夜間景観		周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23
	都心 中央部	景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップにより周辺の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努める。	夜間ガイド ライン VI-18
		建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出 について、別に定めがある場合は、これによるものとする。	-
工作物の建設	等		
		E地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説i-101
配置等	場合は、そ	等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある この周囲及び出入口等の緑化に努める。	解説 i−101
. 1 60		sのバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。	-
外観	工作物のII 形態意匠も	E面だけでなく、当該街路等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の o工夫する。	解説i-101

	大規模な面	iは、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。	解説i-101	
	周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。			
	工作物と一	・体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ		
	う、形態意匠や設置位置を工夫する。			
	材料は、汚	れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ	675 ¥: 101	
	なうことの	ないものとするよう努める。	解説i-101	
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫す	解説i-101	
		る。	月年記1-101	
	河川	道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のま		
	<i>></i> +J //I	ちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫すると	_	
		ともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努め	_	
		る。		
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和し	_	
	追 四	た形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。		
	照明演出を	行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの	夜間ガイド	
	│ 風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に │		ライン VI-18	
	配慮した輝度とする。			
夜間景観	周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、			
仪间泉既	それと調和するよう配光や色温度に配慮する。			
	景観上主要	は立路からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより周辺	夜間ガイド	
	の歴史的景	観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努め	ライン	
	る。		VI-18	

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

四つ橋筋地区

【景観形成方針】

四つ橋地区全体にかかる方針

ビジネス街としての落ち着きがあり緑豊かな街路景観の形成

緑豊かなビジネス街として形成されてきたまちなみ景観の整備・充実を図り、緑と調和した落ち着きのあるまちなみとしていく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努め、建築物の高さは道路幅とのプロポーションを配慮して計画する。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性 豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部(原則地上3階以上)については、緑と調和した落ち着きのある外観とする。

建築物の壁面を後退させることにより、快適な歩行者空間を創出する。

修景上ポイントとなる建築物や公園、河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、ターミナル周辺では来街者を迎え入れる雰囲気づくり、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサード照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流できる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

〇「大通り(広幅員道路)」のまちなみ形成

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である「大通り」の特性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを形成する

〇「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみを形成する。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の 良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

河川

心中

一央部

道頓堀川

沿川

「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成

道頓堀川東部(浮庭橋以東):建築物や敷地は、水辺の遊歩道や橋上、対岸の建築物からの眺めを意識し、水上からの「見え」に配慮するとともに、個性を持ちつつ周辺とも協調性のあるデザインとする。また、低層部は遊歩道を行く人々が気軽に出入りできるような開放性のあるものとし、河川、水辺、遊歩道と沿川のまちとが一体となったにぎわいのある水辺のまちなみを形成する。

「川沿いの魅力」を高める

道頓堀川東部(浮庭橋以東):水辺の遊歩道は、沿川の建築物が川に向きやすいよう、また、水辺の 回遊性を高めるため橋梁や沿川の道路などからアクセスしやすいよう整備しており、河川の水質浄 化にも取り組みながら、さらなる水辺の交流空間の形成と、ミナミの繁華街にふさわしいにぎわい の創出に努める。

道頓堀川にかかる橋梁は、魅力ある水辺空間を構成する構造物の一つとして、水辺からの眺めにも 配慮したデザインにするとともに、水辺空間の視点場のひとつとして人々が憩い、集うことのでき る場となるよう努める。

「水辺をいかしたまちなみ」の形成

之島等 に多

御堂筋以西:周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化に努め、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

御堂筋以西:高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

○歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみを形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形成する。

【景観形成基準】

道

路

共通事項(建築物・工作物)

良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したうえで、景観形成方針を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のまちなみと調和のとれたものとなるよう努める。

りょか C m/HV/	C 40/2 80) C	- なるより知める。	
建築物の建築等			
	部分は、同 地面積が 5 ただし、敷 上記により	(原則として柱及び建築物に附属する塀を含む)は、当該街路から(隅切一街区内における隅切を除いた当該街路を延長した線から)1 m以上(敷00 ㎡を超えるものは2 m以上)後退し、その部分は歩行者空間とする。 (地規模や敷地形状により上記により難いものは、緩和することができる。設けた歩行者空間は、歩行上支障のない範囲で、一部を緑地とすることがた公共歩道や隣接敷地内の歩行者空間との間に段差を設けないよう努める。	解説 i-82
配置		地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する 意匠を工夫する。	例示i-127
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物は、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。	解稿 i −109
	道路	建築物の連続性 <mark>による見通し景観に</mark> 配慮するとともに、接道部に空地を設け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。	解説 i-88
	通りとの親密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、 まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。		
	シャッター	を設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。	解説 i-89
	車の出入口	は、原則として当該街路に面して設けない。	解説 i-89
1 階部の形態	河川	とんぼりリバーウォーク沿いの敷地では、遊歩道に面した階に川側へのアクセスを確保するなど、建築物と河川空間とがつながるような形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-90
		中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するなど、にぎわいを生み出すよう工夫する。	解 说 i -109
高さ	敷地前面の	当該街路幅員を2で除して得た値以上となるよう努めるものとする。	解説 i-90

建築物の間口幅		 n以上、建築面積は 200 ㎡以上となるよう努めるものとする。	解説 i-91	
及び建築面積	外壁は、建築物単体の	のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴	例示i-127	
		け合は形態意匠を工夫する。 さく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築物 に匠も工夫する。	例示i-127 解説 i-91	
	大規模な壁面は、圧追 匠を工夫する。	!感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意	例示i-127 解説i-92	
		芝点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい 、、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	例示i-127 解説i-92 例示i-127	
	低層部と中高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。			
外壁	設けた表情	上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 青のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93	
バエ	の敷地で <i>l</i> ザインを	上佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川 は、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデ 工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザ るよう努める。	-	
	王要な視点 の部分は、 なるよう		解稿 i −110	
	の外壁は、 たデザイン	点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識し とするなど、形態意匠を工夫する。 要な道路からの見通し景観を意識して、沿道のまちなみと調和し	角碟 说 i −111	
	追路 た形態意図	至となるようファサードデザインを工夫する。	例示i-127	
バルコニー等		よう、形態意匠を工夫する。 団用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等	-	
, ()v = +	が見えないよう工夫する。			
LLAS	外壁などの材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により 景観をそこなうことのないものとするよう努める。			
材料	外壁や屋根などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう 努める。			
	周辺のまちなみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた、落ち着いた色彩とする。			
	周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。			
	色彩は彩度6以下(日本工業規格 28721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のある自然材料は除く。)			
	彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面 の見付面積の5分の1未満とする。ただし、別に定めがある場合は、これによるもの とする。			
色彩	外壁に直接貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効			
	アクセントカラーを中 努める。	r高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう	解説 i-97	
	主要な視点 の部分は、 う努める。	点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物 主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよ やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部に こまとめるものとする。	解 说i −112	
屋外階段	当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。			
		や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。やむ 建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99	
建築設備	高架水槽、冷却塔設備 隣接する公園等の公共	及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場で目隠しをするなど修景を工夫する。	解説 i-99	
	テレビアンテナ等は、	当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置	解説 i-99	
付属施設	するよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。 駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景 観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位 置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。			

			/EII.: 107		
	植栽は、周辺	辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。	例示i-127 解説 i- 99		
植栽	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮し、水辺の潤いやゆとりある緑化に努める。また、歴史的景観資源への眺望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の工夫等に努める。	解説 i −114		
塀・柵	当該街路に面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とす がる。				
	まちなみの	行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の 風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、 配慮した輝度とする。	夜間ガイド ライン VI-18		
	う夜間景観	当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよりの形成に努める。	夜間ガイド ライン VI-18,21		
		などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・するよう努める。	夜間ガイド ライン VI-20 夜間ガイド		
夜間景観		周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップによ	ライン VI-18,23		
	都心 中央部	り周辺の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景 観の演出に努める。	夜間ガイド ライン VI-18		
		建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出について、別に定めがある場合は、これによるものとする。	-		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32		
工作物の建設等					
		世を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説i-101		
配置等	当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある。				
	車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。				
-	工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物				
	の側面や背面の形態意匠も工夫する。				
	大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。				
_	周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。				
	工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、形態意匠や設置位置を工夫する。				
-	材料は、汚	れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ ないものとするよう努める。	解説 i−101		
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i−101		
外観		堂島川、土佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川 の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	-		
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめるものとする。	解说i −112		
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	-		
夜間景観	風景の一部	行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの 3となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に	夜間ガイド ライン VI-18		
ス旧水形	配慮した輝	ではまする。 がくり推進委員会での取り組みを踏まえ、橋梁等の良好なライトアップに努	夜間ガイドライン		

		VI - 15.23	
		は建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、 はするよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23
		正な道路からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより周辺 会観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努め	夜間ガイド ライン VI-18
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅 力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

なにわ筋地区

【景観形成方針】

なにわ筋地区全体にかかる方針

豊かなみどりと調和したゆとりある街路景観の形成

緑豊かな、業務、商業、居住機能が融合する複合市街地として形成されてきたまちなみ景観の整備・充実を図り、緑と調和したまちなみとしていく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努め、建築物の高さは道路幅とのプロポーションを配慮して計画する。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性 豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部 (原則地上3階以上) については、緑と調和した落ち着きのある外観とする。

建築物の壁面を後退させることにより、その部分の緑化を推進する。

修景上ポイントとなる建築物や公園、河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサード照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流できる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

〇「大通り(広幅員道路)」のまちなみ形成

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である「大通り」の特性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを形成する。

〇「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみを形成する。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

道「水辺と一体感のあるまちなみ」の形成

川幅堀川

沿

心中央

河

道頓堀川西部 (浮庭橋以西): 水辺に面する建築物は橋上や水上からの眺めを意識したデザインの工夫や、周囲の建築物にも配慮し、敷地の植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるように努めることにより、ゆとりと安らぎの感じられる開放的な水辺のまちなみを形成する。

道

路

「川沿いの魅力」を高める

道頓堀川西部(浮庭橋以西): 広がりのある開放的な河川の特徴をいかし、ゆとりと安らぎを感じ られる水辺空間の形成や河川の水質浄化などに努める。また、橋梁など構造物のデザインは、魅力 ある水辺空間の構成要素の一つとして水辺からの眺めや、中景、遠景も意識したデザインの工夫に 努める。

「水辺をいかしたまちなみ」の形成

御堂筋以西:周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化 に努め、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

御堂筋以西:高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配 慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印 象的な顔づくりに努める。

〇歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみ を形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成す

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告 物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形 成する。

例示i-128

解說 i -109

【景観形成基準】

共通事項(建築物・工作物) 良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮 したうえで、景観形成方針を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のま ちなみと調和のとれたものとなるよう努める。 建築物の建築等

1階の外壁(原則として柱及び建築物に附属する塀を含む)は当該街路から(隅切部 分は、同一街区内における隅切を除いた当該街路を延長した線から)2m以上後退す るか、又は、これに相当する面積のオープンスペース(ピロティを含む)を当該街路 解説 i-83 沿いに設ける。なおその部分は緑化に努める。 ただし、敷地規模や敷地形状により上記により難いものは、緩和することができる。 配置 敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する 例示i-128 よう、形態意匠を工夫する。 主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物 河川 解論 i -109 は、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。 建築物の連続性による見通し景観に配慮するとともに、接道部に空地を設 道路 解説 i-88 け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。 通りとの親密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、

例示i-128 まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。 シャッターを設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。 解説 i-89

1階部の形態 解説 i-89 車の出入口は、原則として当該街路に面して設けない。 中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するな

河川 ど、にぎわいを生み出すよう工夫する。 吉高 敷地前面の当該街路幅員を2で除して得た値以上となるよう努めるものとする。 解説 i-90 建築物の間口幅 解説 i-91

建築物の間口幅は10m以上、建築面積は200 m以上となるよう努めるものとする。 及び建築面積 外壁は、建築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴 例示i-128 史的景観資源がある場合は形態意匠を工夫する。

> 建築物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築物 例示i-128 の側面や背面の形態意匠も工夫する。 解説 i-91 大規模な壁面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意 例示i-128 匠を工夫する。 解説 i-92 建築物が主要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい 解説 i-92 場所に位置する場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。

外壁

	_			
	低層部と中	『高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。	例示i-128 解説 i- 92	
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-93	
		堂島川、土佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川 の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	-	
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、建築物のファサードを水辺側に向けるなど魅力ある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i −11 0	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の外壁は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	解説i −111	
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	例示 i−128	
バルコニー等	手摺に透明	なと調和するよう、形態意匠を工夫する。 引ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等 いよう工夫する。	例示i-128 解説 i-93	
1 I del		が料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により なうことのないものとするよう努める。	解説 i- 9469	
材料		などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努め	解説 i-94	
	周辺のまちなみや建築物全体の形態意匠と調和のとれた、落ち着いた色彩とする。			
	周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。 色彩は彩度6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のある自然材料は除く。)			
A TO	彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の見付面積の5分の1未満とする。ただし、別に定めがある場合は、これによるものとする。			
色彩	外壁に直接貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効果的に使用し、アクセントカラーとして面積に含む。 アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう			
	努める。			
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解説 i -●	
屋外階段		P隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむ 場合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠 。	解説 i-99	
		さどは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 *露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99	
建築設備	高架水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や 隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。			
	テレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置 するよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。			
付属施設	観や敷地内	ービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景 内の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位 るよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。	解説 i-99	
	植栽は、周	辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。	例示i-128 解説 i-99	
植栽	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮し、水辺の潤いやゆとりある緑化に努める。また、歴史的景観資源への眺望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の工夫等に努める。	解説 i −114	

	\\\\ 2+\d+10\\\\				
塀・柵		ご面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放 きの高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠	解説 i-99		
 	とする。	tv)同V情担とするなと、同型京観で放地内v)建築物寺と調和した形態息圧	月午 記元 1一99		
		・行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の			
)風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、	夜間ガイド ライン		
		に配慮した輝度とする。	V I−18		
		と当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよ	夜間ガイド		
		日の形成に努める。	ライン		
		まなどのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・	VI-18,21 夜間ガイド		
	公園や仏場などのバブリックへへ一へに解接する敷地では、役間無明は周辺の女主・ 安心に寄与するよう努める。				
	女心に行う		VI-20 夜間ガイド		
七 明 早 知		周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等が	ライン		
夜間景観		ある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。	VI-18,23		
	都心	景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップに	夜間ガイド		
	中央部	より周辺の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間見知の対理となった。	ライン VI-18		
		間景観の演出に努める。			
		建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出	_		
		について、別に定めがある場合は、これによるものとする。			
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に	夜間ガイド		
	河川	面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅	ライン VI - 32		
		力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	VI 02		
工作物の建設等			1		
		匿地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説 i-101		
配置等		P隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する	解説 i-101		
		ぶある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。	13THAUT TO T		
		xのバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。			
		E面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物	解説 i-101		
	の側面や背面の形態意匠も工夫する。				
	大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。				
	周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。				
	工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ				
	う、形態意匠や設置位置を工夫する。				
	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ				
	なうことの	つないものとするよう努める。	解説 i-101		
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-101		
		堂島川、土佐堀川及び道頓堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川			
外観		の敷地では、沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデ			
7 1 E/G		ずインを工夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザー			
		インとなるよう努める。			
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物			
	河川	は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザイ			
		ンとするなど、形態意匠を工夫する。			
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物			
		工要な祝点場からい配めた配慮し、十足曲等の放地で行力に曲するエドが の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよ			
		一う努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにま			
		とめるものとする。			
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。			
	照明演出を	- - 行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの	夜間ガイド		
	風景の一部	『となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に	ライン VI-18		
	配慮した潤	輝度とする。	VI-18		
			大田ギノビ		
	/	づくり推進委員会での取り組みを踏まえ、橋梁等の良好なライトアップに努	夜間ガイド ライン		
	める。		VI-15,23		
夜間景観					
	周辺に近代	は建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、	夜間ガイド ライン		
	それと調和	ロするよう配光や色温度に配慮する。	VI-18,23		
	1	をな道路からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより周辺	夜間ガイド		
		最観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努め	ライン VI-18		
	る。		A1 .10		

河川

主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅 力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。

夜間ガイド ライン VI - 32

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

心中

一央部

町台地

土佐堀通地区

【景観形成方針】

土佐堀通地区全体にかかる方針

水辺の気配とビジネス街としての落ち着きを感じさせる街路景観の形成

古くからのビジネス街として形成されてきたまちなみ景観の整備・充実を図り、大阪を代表する優れた水辺景観と調和した落ち着きのあるまちなみとしていく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努め、建築物の高さは道路幅とのプロポーションを配慮して計画する。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部 (原則地上3階以上) については、水辺景観と調和した落ち着きのある外観とする。

水辺への見通し確保や建築物の壁面を後退させることにより、快適な歩行者空間を創出する。

修景上ポイントとなる建築物や公園、河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられる まちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間 照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサード 照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇まちの魅力の創造

人々が快適に活動できる広い歩行者空間の確保、ゆったりと和める緑の創出及び人々が立ち寄り、交流できる沿道建築物の工夫などを進め、都心らしいまちの魅力を創造する。

〇「大通り(広幅員道路)」のまちなみ形成

大規模な建築物が連なり、歩道や街路樹が整備され、多くの人々が行き交う、見通しのよい空間である「大通り」の特性をよりいかして、国際都市・大阪の都心にふさわしい質の高い、風格のあるまちなみを形成する。

〇「地区道路(中小幅員道路)」のまちなみ形成

まちの成り立ちを感じさせる建築物などの歴史的景観資源が随所に見られ、地域の人々が日常接する身近な空間である「地区道路」の特性をよりいかして、歴史性や文化性などのまとまりの感じられるまちなみを形成する。

○坂・歴史・緑が連なるエリアの特性をいかした景観の形成

周辺に寺社や旧街道筋沿いのまちなみなど、古代からの歴史が蓄積された歴史的景観資源が残されている場合は、できるだけこれらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮し、落ち着いた、深みのあるまちなみを形成する。

地域に残された緑はできるだけ保全し、また見せ方を工夫するとともに緑との調和に配慮したまちなみ景 観を形成する。

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の 良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

「水辺をいかしたまちなみ」の形成

御堂筋以西:周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化に努め、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

御堂筋以東:水辺に面した建築物や構造物のデザインの工夫に努めることにより、水・緑や歴史的 建築物や構造物などと調和した、まとまりのある川沿いのまちなみを形成し、水の都大阪の歴史や 伝統を受け継ぐ風格ある都市景観を形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

〇歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみを形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形成する。

【景観形成基準】

河

Ш

道

路

共通事項(建築物・工作物)

良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したうえで、景観形成方針を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のまちなみと調和のとれたものとなるよう努める。

ちなみと調和の	とれたものと	こなるよう努める。			
建築物の建築等					
	なにわ筋~四つ橋筋		四つ橋筋~谷町筋		
	12104	プ朋力・ビビューン作品 別	北側	南側	
配置			では及び建築物に附属 ただし、これにより難い場合は、 1階の外壁(原則として柱及び建 築物に附属する塀を含む)は当該 街路から(隅切部分は、同一街区 内における隅切を除いた当該街 いたとはではいた当該街路を があるが長した線から)1.5m以上 になける隅切を除いた当該街路を	解説 i-82	
	敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する			例示 i-129	
		意匠を工夫する。	ト ジコ バッショ セマット マ		##=¥ : 0.0
	上町台地	接道部に空地を設け			解説 i-88
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面すは、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。	で河川に面する建築物	解说 i -109	
	道路		<mark>よる見通し景観に</mark> 配慮するととも 空間の確保又は緑化に努める。	に、接道部に空地を設	解説 i-88
1階部の形態	通りとの親密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、 まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。			例示 i-129	
	シャッター	を設置する場合は原	則としてグリルシャッターとする) ₀	解説 i-89

	車の出入口は、原則として当該街路に面して設けない。	解説 i-89	
	1階部は土佐堀通から大川・中之島への見通しを確保するよう工夫する。	例示 i-12 解説 i-8	
	河 川 中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するなど、にぎわいを生み出すよう工夫する。	解說 i −10	
高さ	敷地前面の当該街路幅員を2で除して得た値以上となるよう努めるものとする。	解説 i-9	
建築物の間口幅 及び建築面積	建築物の間口幅は10m以上、建築面積は200 m以上となるよう努めるものとする。	解説 i-9	
	外壁は、建築物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴 史的景観資源がある場合は形態意匠を工夫する。	例示 i−12	
	建築物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築物の側面や背面の形態意匠も工夫する。	例示 i-12 解説 i-9	
	大規模な壁面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意 匠を工夫する。	例示 i-12 解説 i-9	
	建築物が主要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい 場所に位置する場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。	解説 i-9	
	低層部と中高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。	例示 i-12 解説 i-9	
外壁	対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを 設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	例示 i-12 解説i-9	
	大川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川 のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫すると ともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	例示 i-12	
	河 川 主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、建築物のファサードを水辺側に向けるなど魅力ある形態意匠となるよう工夫する。	角張 说 i −11	
	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の 外壁は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識したデ ザインとするなど、形態意匠を工夫する。	解 说 i −11	
	道 路 景観上主要な道路からの見通し景観を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	例示 i−12	
. Šu — — #	建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	-	
バルコニー等	手摺に透明ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等が見えないよう工夫する。	解説 i-9	
	外壁などの材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により 景観をそこなうことのないものとするよう努める。		
材料	外壁や屋根などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう努める。	解説 i-9	
	周辺のまちなみや水辺景観、建築物全体の形態意匠と調和のとれた、落ち着いた色彩とする。	例示 i−12 解説i−9	
	周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。		
	色彩は彩度6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のある自然材料は除く。)	解説 i-9	
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	解説 i-8	
色彩	とする。 外壁に直接貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効果的 に使用し、アクセントカラーとして面積に含む。		
	アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努める。	解説 i-9	
	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、建物低層部にシンプルにまとめるものとする。	解说i −11	
屋外階段	当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99	
建築設備	配管設備などは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。 やむを得ず露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	解説 i-99	
生未 议	高架水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や 隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場	解説 i-99	

		-バー等により目隠しをするなど修景を工夫する。	
	するよう努	アナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置 そめる。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99
	駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景		
付属施設		Nの建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位 つるよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。	解説 i-99
	植栽は、馬る。	別辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置す	解説 i-99
	上町台地	地域に残された緑と調和するよう緑化に努める。	解説 i-99
植栽	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮し、水辺の潤いやゆとりある緑化に努める。また、歴史的景観資源への眺望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の工夫等に努める。	角碟 说 i −114
塀・柵		面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的でい構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。	解説 i-99
	照明演出を	行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の	夜間ガイド
	まちなみの)風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、	ライン VI-18
		配慮した輝度とする。	夜間ガイド
		: 当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよ 記の形成に努める。	校间ル1ト ライン VI-18,21
	公園や広場	などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・	夜間ガイド ライン
	安心に寄与	さするよう努める。	VI-20
		周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等が	夜間ガイドライン
夜間景観		ある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。	VI-18,23
	都心	景観上主要な道路からの眺めに配慮し、効果的な建物へのライトアップに	夜間ガイド
	中央部	より周辺の歴史的景観資源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜	ライン VI-18
		間景観の演出に努める。	VI 10
		■ 建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出 について、別に定めがある場合は、これによるものとする。	-
		主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に	夜間ガイド
	河川	面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅	ライン
		力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	VI - 32
工作物の建設等	-		
		E地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説 i-101
配置等	当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する 駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。		
	工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。		-
	工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物		
	の側面や背面の形態意匠も工夫する。		解説 i-101
	大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。		解説 i-101
	周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。		-
	工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ		
	う、形態意匠や設置位置を工夫する。		
	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこ なうことのないものとするよう努める。		
	なりことの	がないものとするよう分のる。 │ 対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-101
外観		大川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、沿川のまち	MANUEL TO I
		なみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫するとともに、植栽	-
		などについても水辺と調和のとれたデザインとなるよう努める。	
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物は、歴史 的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザインとするなど、形	_
		助京航員派を家園のに至めるより員派との関係を怠戦したアッインとするなど、か 態意匠を工夫する。	
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物の部分	
		は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむ	解説i −112
		を得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめるものとする。 - 早知し、主要な、美味な、この日子し早知な、辛辣して、小羊のよれなない問題し	
		│ 景観上主要な道路からの見通し景観を意識して、沿道のまちなみと調和し	
	道路	た形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	
		た形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。 行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景	方門ガンド
夜間景観	照明演出を		夜間ガイドライン
夜間景観	照明演出を	行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景 ることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した	

光のまちづ	くり推進委員会での取り組みを踏まえ、橋梁等の良好なライトアップに努め	夜間ガイドライン
る。		VI-15,23
周辺に近代	建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それ	夜間ガイドライン
と調和する	よう配光や色温度に配慮する。	VI-18.23
景観上主要	な道路からの眺めに配慮し、効果的な工作物へのライトアップにより周辺の歴	夜間ガイドライン
史的景観資	源への視線や動線を誘導する工夫を行うなど、夜間景観の演出に努める。	VI-18
	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に面	夜間ガイド
河川	する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を	ライン VI - 32
	高める水辺の夜間景観の形成に努める。	VI - 32

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

国道2号地区

【景観形成方針】

国道2号地区全体にかかる方針

にぎわいがにじみ出す大都市を貫く大通りの街路景観の形成

キタのターミナルに接続する地区として、多くの人々を惹きつける開放感とにぎわいのあるまちなみとして いく。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努める。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資す るものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資 源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、街路空間と建築物の親密感や一体感が醸成されるような、クオリティが高く個性 豊かなデザインにより、人々が歩いて楽しめる、都心らしい魅力を感じさせるまちなみを形成する。

建築物の中高層部(原則地上3階以上)については、明度の高い外観とする。

敷地際における歩行者空間や緑地の創出、それらの連続化など、人々が歩いて楽しめる都心らしいまちの魅 力を感じさせる景観を形成する。

修景上ポイントとなる建築物や公園などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については当該街路側を避けて集約化 するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋 外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある街路景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられ るまちなみを創出する。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存 など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

○歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

道 路

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみを 形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外 広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

【景観形成基準】

建築物の建築等

共通事項(建築物・工作物)

良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮 したうえで、景観形成方針を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のま Mini-130 ちなみと調和のとれたものとなるよう努める。

	当該街路沿いに空地を設け、その部分は歩行者空間とするか緑化に努める。 上記により設けた歩行者空間は、公共歩道や隣接敷地内の歩行者空間との間に段差を 設けないよう努める。		
配置	敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する よう、形態意匠を工夫する。		
	道路	建築物の連続性に配慮するとともに、接道部に空地を設け、快適な歩行者 空間の確保又は緑化に努める。	解説 i-88
	通りとの親	R密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、	例示 i-130
1 階部の形態	まちのにぎわいを生み出すよう工夫する。		ואנגנון
1 時 印 ハンハンに	シャッターを設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。		解説 i-89
	車の出入口	は、原則として当該街路に面して設けない。	解説 i-89

建築物の間口幅 及び建築面積	建築物の間口幅は 10m以上、	建築面積は200 m²以上となるよう努めるものとする。	解説 i-91
-------------------	-----------------	-----------------------------	---------

所に位置する場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。 (株)		史的景観資源がある場合は形態意匠を工夫する。		
大規反空面は、圧迫感のある単純なものとならないよう、逆面の分節化など形態意匠 を下去する。 理采物が主要道路の交棄点・風曲部及び突き当たり等、多くの人の提案を集めやすい場所に設する場合は、生ちなかのワクセントとなるよう景観上の工夫をする。 服器レ生素な定路からの見え方を意識して、光速でする。 選路 第級上主要な定路からの見え方を意識して、治道のまちなみと調和した形態を開発してなるとうファサードデザインを工まする。 建築物金体と設定は高からの見え方を意識して、治道のまちなみと調和した形態を影響にとなるようファサードデザインを工まする。 「本経物金体となる上のファサードデザインを工まする」 手間に透明ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等が見えないようエ大する。 外壁などの材料は、汚れが自立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は條件により最優を全になうことのないものとするよう努める。 外壁などの材料は、汚れが自立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は條件により最優と全になっとのないものとするよう努める。 内型のようなみや整整物全体の形容を医医と調和のとれた明度の高い色彩とする。 周辺のうまむなみや整整物全体の形容を医医と調和のとれた明度の高い色彩とする。 周辺のから発出した、圧迫感が他心高砂度の色球流射でる。 の素性療のある自然材料はなく) 影度も本観える色彩を用いる場合は、アクヤントカラーとして効果的に使用し、各面の見が報報のも分のは非常とより、現代に設定は表面がよりまりまりまりまりまりまります。 「おい場合は、使光指揮を行うなどにより、乗物を作と調由するより、形態に対し、場は関連してい場合は、場は指揮を行うなどにより、東地の体に設置するより、卵炎上のなどとが関連していまり上下る。 中なと作り返出する場合は、変がの公共空間に面する外壁に踏出させないようエキする。 のない場合は、実は精密を行うなどにより、乗物を作に調けるより、卵炎は一切によっなかの患をなるとない。 「ないのまで集物をとの調かのまな関性のなと、では、当ば奇路や機 使する公園等の公共空間がら見えないで関に設定するより努める。やむを得ない場合は、に、ルーバー等により目的としていまりませんで表に表しまりまりまりまります。 「本理事を成立のとないをといるとし、「当然有路から見えないで置いるといる」とより努める。それをおは実験をとの調からまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり			解説 i-91	
# を上土する。				
所に位置する場合は、まちかみのアクセントとかるよう景観上の工夫をする。				
選問 無限して地商機の対象が振る性、作上口を分割するよう策略上の上大をうる。 無限1-92 建築物を作と調和するよう、形態意匠を工夫する。 お達のようアッツ・ドゲザインを工夫する。 特別・130 生薬物を作と調和するよう、形態意匠を工夫する。	外壁			
#報上主要な道路からの見え力を音楽して、台道のまちなみと調和した形態を近となるようファサードデザインを工夫する。 生態物を体と調和するよう、形態を覚えて夫する。 - 一名		低層部と中高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。		
# 2		- 1日 - IX -		
規則-93			-	
特徴	バルコニー等		解説 i-93	
			ATTEN 1 O A	
周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。 周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。 色彩は影響の以下(日本工業規格 28721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等の素材感のあら自然材料は除く。) 多度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の別け面積の6分の1 未満とする。 アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう努める。対している場合は、多ない場合は、修品措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。配管設備などは、道路や公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、修保措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。高架水構、合知場設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該有路や隣接する公園等の公共空間のら見えない位置に設置するよう努める。またを得ない場合は、は、近日でいる場合は、とは、近路や公園等の公共空間にと設置するよう努める。やむを得ない場合は、自己では、水で、大きない位置に設置するようが設め、また色彩は建築物等との調和を包含。 「新華場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景観や敷地内の産業物等と調和した形態意匠とするともに、当該有路から見えない位置に設置するよう変める。をむを得ない場合は、自己で表別ない信置に設置するよう変める。やむを得ない場合は、自己で表別などこみ置き場等は、周辺景観、中の正対の産業物等と調和した形態意匠とする。 「無明は山を育り場合は、建物のファナードの美しをや魅力を高めものとと、同辺のままなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。 「東明は山を行う場合は、漫物のアナードの美しをや魅力を高めものととし、周辺のままなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺界観の形成に受める。 周辺に近代建築物なと歴史的な景観資源やエリアのイメージと調和するようなが、現間別は、299 211221 21221	材料		解説 i−94	
画用から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。 (ただし石材・木材等				
 色彩は彩度 6 以下(日本工業規格 28721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等 の素材感のある自然材料は除く。) 譲度 6 を超える 6 彩を 6 かの 1 未満とする。 アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない価値でシンプルにまとめるよう努める。 解説 1-92 当該指筋を吟離検する 2 3 場等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。 やむを得ない場合は、修規措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう。 形態意匠を工夫する。 6 彩水槽、冷却塔設備及びより変が全体と調和するよう。 7 シェイラ 7 会は、 2 3 会が 6 3				
 ●素材感のある自然材料は除く。) ※皮 6 を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の見付面積の5分の1 未満とする。アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンブルにまとめるよう努める。物と様とでない場合は、終末情をそ行うなどにより、建築物を住と調和するよう、形態意匠を工夫する。やむをは、終末情を発行うなどにより、建築物を住と調和するよう、形態意匠を工夫する。やむを得ず露出する場合は、建築物を体と調和するよう、形態意匠を工夫する。を対した場合は、施井時度及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修長を工夫する。テレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど様長を工夫する。テレビアンテサ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。また色彩は建築物等と画和を図る。 まま場 (サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺県銀条敷地内の建築物等と調和した形態意所とするとともに、当該街路から見えない位置に設置するよう努める。また色彩は建築物等と調和するよう、持種も考慮して適切に配置する。 解説 1-99 当該街路に面して、原則、塀又は柵を設置したが、やむを得す設置する場合は、開放ので透過性の高い構造とするなど、周辺県銀条敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。 解説 1-99 場所に記憶した確度とする。 原則演出を行場合は、建物のファナードの美しきや魅力を高わらわをし、関辺のまるみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺・近代地野地学と調和するよう、夜間景観に記憶と対しまりが表現を表現方法を工夫する。表情的な場合といて表現内容や表現方法を工夫する。表情的が表場の建設を対していまりが表現のと表情のと表情のと表情の表情にと関わていまりが表現を表現方法を工夫する。			解説 i−95	
渡度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の 別して	分 彩		解説 i-95	
関係に対していまります。	巴杉	21.14.5		
アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンブルにまとめるよう努める。 解説1-97			解説 i-82	
歴外階段 ない場合は、修界措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。			解説 i-97	
展覧に関係などは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。	民外院的	当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得	62=2 i_00	
空間	庄7F旧权		月午前九 1一 ララ	
意楽水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。 テレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。 駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするともは、当該街路から見えない位置に設置するよう努める。をむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。 植栽 植栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。 塀・柵 当該街路に面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。 原明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した確度とする。 夜間所作うが、			解説 i-99	
接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修養を工夫する。 テレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。 駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位置解説 「99」に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修験を行う。 「個栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。」 「展明演出を行う場合は、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得す設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。「展明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまななみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。 「夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間別が、「夜間景観の形成に努める。 「毎間方が、「文は、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き、「大き				
は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。 デレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。 野車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、当該街路から見えない位置 解説 i-99 に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。	建築設備			
およう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。				
およう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。 駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするともに、当該街路から見えない位置に設置するよう努める。 やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。		テレビアンテナ等は、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置す	62=2 i_00	
横成 横成 横成 横成 横成 横成 一99 に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。 横成 植栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。 横説 一99 当該街路に面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。 解説 一99 「最近 中級 中級 中級 中級 中級 中級 中級 中			月午前九 1一 ララ	
に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行う。 横形 130 植栽 植栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。 横形 199	/		ATTEN 1 00	
植栽 植栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して適切に配置する。 網第-130 解脱-99 当該街路に面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とする。 照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。 夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間別に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。	付禹施設		解説 1−99	
機械・細	1 - 41		例示 i-130	
腰脱 1-99	植栽 —————			
照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮した輝度とする。 夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間ガイドライン (1-18,21 夜間景観の形成に努める。 公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・安心に寄与するよう努める。 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 「原間方代ライン (1-18,23 工作物の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 解説 101 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のパランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 解説 101 周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 11 年初と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ	塀・柵		解説 i-99	
おなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺 環境に配慮した輝度とする。 夜間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間ガイドライン では 景観の形成に努める。 公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・安心に寄与するよう努める。 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 京の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 解説・101 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 上記述は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 上記述は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 上記述は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 上記述は、正記述は、正記述のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 上記述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正述は、正			あ問 ガイド	
夜間景観 夜間景観の形成に努める。 衣間照明を当該街路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和するよう 夜間景観の形成に努める。 公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・安 心に寄与するよう努める。 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、そ れと調和するよう配光や色温度に配慮する。 工作物の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐 車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物の正面だけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ		ちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺		
夜間景観の形成に努める。 公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・安心に寄与するよう努める。 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 工作物の建設等 東地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物の正面だけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ				
□ 公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・安心に寄与するよう努める。 □ 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 □ 工作物の建設等 □ 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 □ 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 □ 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 □ 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 □ 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 □ 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 □ 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 □ 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 □ 元 「			夜間カイドライン	
公園や広場などのハフリックスへ一人に解接する敷地では、夜間煎明は周辺の安全・安心に寄与するよう努める。 周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 工作物の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「開説i-101 解説i-101 周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ	夜間景観		VI-18,21	
周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 VI-18.23 工作物の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 解説i-101 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 - 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。				
大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。				
工作物の建設等 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 解説i-101 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 解説i-101 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 解説i-101 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 アルラス			ライン	
 敷地際に空地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。 当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 「大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。」 	- /- 4- ○ 7キ=□. ケケ	れと調和するよう配光や色温度に配慮する。 	VI-18,23	
当該街路や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属する駐車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ	工作物の建設等	動地際に空地を設け 周辺への圧迫感や成圧感の軽減に努める	62章当 i_1∩1	
車場等がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の側面や背面の形態意匠も工夫する。 大規模な面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。 用辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ	配置等			
工作物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。 - 工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の 側面や背面の形態意匠も工夫する。	ao ie 4		解説 i-101	
工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の 解説i-101 側面や背面の形態意匠も工夫する。		<u> </u>	-	
側面や背面の形態意匠も工夫する。		工作物の正面だけでなく、当該街路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作物の		
周辺のまちなみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。 - 工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ _	LI 70			
工作物と一体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ	外観			
		工作物と一体となった広告物やサインは、周辺京観や敷地内の建築物等と調和するよう、形態意匠や設置位置を工夫する。	-	

	材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこなうことのないものとするよう努める。		解説 i-101
	道路	景観上主要な道路からの見え方を意識して、沿道のまちなみと調和した形 態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	-
夜間景観		なることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18
		建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、そ るよう配光や色温度に配慮する。	夜間ガイド ライン VI-18,23

- 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。

中之島地区

【景観形成方針】

中之島地区全体にかかる方針

水都大阪のシンボルにふさわしいうるおいと風格を感じさせる都市景観の形成

中之島西部(御堂筋以西)では、水辺に囲まれた地域特性や周辺の建築物などとの調和に配慮し、建築物や構造物のデザインの工夫や敷地の緑化に努め、国際的な業務・文化・学術・交流の拠点にふさわしい、水・緑豊かな、風格とゆとりのあるまちなみを形成する。

中之島東部(御堂筋以東)では、水辺に面した建築物や構造物のデザインの工夫に努めることにより、水・緑や歴史的建築物・構造物などと調和した、まとまりのある川沿いのまちなみを形成し、水の都大阪の歴史や伝統を受け継ぐ、風格ある都市景観を形成する。

歴史的空間である東部と新しい都市活動の空間である西部をつなぐ、ゆったりと散策・回遊できる緑道や遊歩道の整備に努め、歴史や伝統と新しい都市の魅力にあふれた、水の都大阪のシンボルにふさわしい都市景観を形成する。

まちなみにまとまりが生まれるよう、小規模な敷地又は建築物は共同化に努める。

まちなみの連続感、統一感を造り出すとともに、屋外広告物については、地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、秩序が感じられるまとまりあるまちなみを形成する。

近代建築物など周辺に歴史的景観資源が残されている場合は、これらの保全、活用を図るとともに、これら資源との調和に配慮した景観を形成する。

建築物の低層部や敷地は、水辺の立地特性や周辺との調和に配慮したデザインなどを行い、水辺のまちの魅力を高めるまちなみを形成する。

建築物の中高層部(原則地上3階以上)については、水辺景観と調和した落ちつきのある質の高い外観とする。

建築物の壁面を後退させることにより、緑豊かな歩行者空間を創出する。

修景上ポイントとなる建築物や公園、河川、橋梁などの景観要素をいかし、これと調和させる。

駐車・駐輪施設については、適切な規模を配置するとともに、出入り口については集約化するなど、周辺の交通状況や市街地環境等に配慮した計画とする。

建築物の外壁の仕上材、共同住宅のバルコニーの形態、サービスヤードの配置並びに高架水槽、設備配管、屋 外広告物、工作物等について周辺と調和するよう配慮した計画とする。

緑豊かなうるおいある市街地景観の形成

身近な緑や街路樹と調和させるとともに、互いの敷地どうしで補完しあうことで、より豊かな緑が感じられるまちなみを創出する。

都市のイメージを高める眺望景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、見渡す眺め、見通す眺め、ランドマークへの眺めの創出に努める。

地域の特性に応じた夜間景観の形成

夜間照明においては、歴史的景観資源の周辺ではそれらとの調和、商業地では活気・にぎわいと秩序との共存など、それぞれの場所の特性に応じた夜間景観の形成に努める。

護岸や橋梁等の公共施設については、光のまちづくり推進委員会の取り組みを踏まえ、魅力とにぎわいに満ちた夜間照明の創出に努める。

都市のイメージを高める夜間景観の形成

地域の特徴的な景観資源や景観特性をいかし、俯瞰するあかり、水辺のあかり、界隈のあかり、個のあかりの創出に努める。

新たな照明技術を取り入れながら、周囲の環境に配慮しつつ人目をひき存在感を際だたせるようなファサード照明により、都市の顔となるような夜間景観の創出に努める。

上記方針に付加する景観配慮ゾーンの方針

〇水辺に映える景観の形成

対岸、橋上及び水上からの見え方に配慮し、水辺側に建築物のファサードを向ける、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとするなど、河川に沿ったまちなみ景観を形成する。

水辺の魅力を高める眺望景観の形成

河川

高所からの俯瞰、沿川を見通す、対岸を広範囲に見渡す、島らしい印象的な眺めに配慮し、形態意匠の工夫や色彩の配慮などにより、水辺の印象的な顔づくりを行う。

水辺の魅力を高める夜間景観の形成

高所からの俯瞰、水際で水辺に映えるまちなみ、ランドマークの演出など、夜間における水辺の印象的な顔づくりに努める。

○歩いて楽しいにぎわいを感じるまちなみ景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮したまちなみを形成するとともに、通りと建築物の関係が親密で歩いて楽しいにぎわいのあるまちなみ景観を形成する。

道路

道路からの見え方に配慮し、屋外広告物を地区の良好なまちなみの形成に資するものとし、建築物と屋外広告物とが調和した、沿道のまちなみ景観を形成する。

○通りに沿った見通し景観の形成

見通しのよい空間である特性をいかし、建築物の連続性や前面道路と建築物との調和に配慮した眺望景観を形成する。

【景観形成基準】

AC DU / / / / / -				
共通事項(建築				
良好な都市景観	の形成に向り	けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮		
したうえで、景	観形成方針を	を踏まえ、建築物等の配置、規模、形態意匠及び外構などについて周辺のま	例示 i-131	
ちなみと調和の	とれたもの。	となるよう努める。		
建築物の建築等				
		※物に附属する塀を含む)は道路からできるだけ(中之島通に面する敷地の		
		っては、当該街路から(隅切部分は、同一街区内における隅切を除いた当該		
	1	をした線から) 2 m以上) 後退し、その部分は歩行者空間とする。なおその		
	部分は緑化に努める。ただし、敷地規模や敷地形状により上記により難いものは、緩			
	和することができる。			
E7 59.) 設けた歩行者空間は、歩行上支障のない範囲で、一部を緑地とすることが		
配置		た公共歩道や隣接敷地内の歩行者空間との間に段差を設けないよう努める。		
		E地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、周辺景観や建築物全体と調和する	例示 i-131	
	より形態意	低匠を工夫する。		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物	解説 i −109	
		は、周囲との連続性に配慮した建物配置に努める。		
	道路	建築物の連続性 <mark>による見通し景観</mark> に配慮するとともに、接道部に空地を設	解説 i-88	
		け、快適な歩行者空間の確保又は緑化に努める。	STEEDE 1 CC	
		見密性を意識した低層部のデザインやショーウィンドーの設置などにより、	例示 i-131	
		ぎわいを生み出すよう工夫する。		
1 階部の形態	シャッターを設置する場合は原則としてグリルシャッターとする。			
	河川	中之島等の敷地では、新たな視点場として水辺側にテラスを設置するな	解説 i −109	
	7FJ 7.1	ど、にぎわいを生み出すよう工夫する。	四年元 1 一109	
	外壁は、建	 筆物単体のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、特に周辺に歴	解説 i-89	
	史的景観資源がある場合は形態意匠を工夫する。			
	建築物の正面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、建築			
	物の側面や背面の形態意匠も工夫する。			
	大規模な壁面は、圧迫感のある単調なものとならないよう、壁面の分節化など形態意			
	匠を工夫する。			
	建築物が主要道路の交差点、屈曲部及び突き当たり等、多くの人の視線を集めやすい			
	場所に位置する場合は、まちなみのアクセントとなるよう景観上の工夫をする。		解説 i-91	
			例示 i-131	
	区層部とり	「高層部の形態意匠・仕上げを分節するよう景観上の工夫をする。	解説 i-92	
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識して、開口部やバルコニーなどを	例示 i-131	
는 P호		設けた表情のある形態意匠となるよう工夫する。	解説 i−93	
外壁		堂島川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、		
		沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工	/m= : 404	
		夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなる	例示 i−131	
		よう努める。		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
		の部分は、建築物のファサードを水辺側に向けるなど魅力ある形態意匠と	解説 i -110	
		なるよう工夫する。		
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
		の外壁は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう、資源との関係を意識し	解説i -111	
		たデザインとするなど、形態意匠を工夫する。		
		景観上主要な道路からの見通し景観を意識して、沿道のまちなみと調和し		
	道路	京航工工安な追踪からの元通し京航を忠誠して、旧道のようながと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	-	
		15月20日には日本ノイノソニアリケイで上入りる。		

	建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。	T _	
バルコニー等	手摺に透明ガラスを使用しないなど、道路や公園等の公共空間から洗濯物や室外機等	解説 i-93	
	が見えないよう工夫する。		
	外壁などの材料は、汚れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により		
++ 1/4	景観をそこなうことのないものとするよう努める。	671=¥ : O 4	
材料	外壁や屋根などの材料は、太陽光を著しく反射する恐れのあるものを使用しないよう	─解説 i-94	
	努める。		
	周辺のまちなみや水辺景観、建築物全体の形態意匠と調和のとれた、落ちついた色彩	例示 i-131	
	とする。	解説 i-95	
	周囲から突出した、圧迫感が強い高彩度の色彩は避ける。	解説 i-95	
	色彩は彩度6以下(日本工業規格 Z8721 に定める彩度)とする。(ただし石材・木材等	解説 i-95	
	の素材感のある自然材料は除く。)		
	彩度6を超える色彩を用いる場合は、アクセントカラーとして効果的に使用し、各面の見せを持つ50001 まだります。 なだし 即じておがれる場合はこれによるものし	67 =¥ : 0 0	
	の見付面積の5分の1未満とする。ただし、別に定めがある場合はこれによるものと する。	解説 i-82	
色彩	9 %。 外壁に直接貼付又は描写された模様や文字(広告物を含む)は、アクセントとして効		
	果的に使用し、アクセントカラーとして面積に含む。	-	
	アクセントカラーを中高層部で用いる場合は、少ない面積でシンプルにまとめるよう		
	努める。	解説 i-97	
	主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する建築物		
	河 川 の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよ	解 说 i −112	
		門職元 1 一 1 1 2	
	シンプルにまとめるものとする。		
	主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。や		
屋外階段	むを得ない場合は、修景措置を行うなどにより、建築物全体と調和するよう、形態意	解説 i-99	
	匠を工夫する。		
	配管設備などは、道路や公園等の公共空間に面する外壁に露出させないよう工夫する。	解説 i-99	
	やむを得ず露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫する。		
建築設備	高架水槽、冷却塔設備及びその他屋外設備機器を屋上に設置する場合は、主たる道路		
注未以 师	や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置するよう努める。やむを得ない 場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景を工夫する。		
	テレビアンテナ等は、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見えない位置に設置す		
	るよう努める。また色彩は建築物等との調和を図る。	解説 i-99	
	駐車場(サービスヤード、機械駐車設備を含む)、駐輪場及びごみ置き場等は、周辺景		
	観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とするとともに、主たる道路から見えない		
付属施設	位置に設置するよう努める。やむを得ない場合は、目隠しや緑化などにより修景を行		
	<u>5.</u>		
	御堂筋から見える位置に自動販売機を設置しない。	-	
	植栽は、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよう、樹種も考慮して高木・中木・	例示 i-131	
	低木を適切に配置する。 主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地では、周辺景観に配慮	解説i-99	
植栽	工要な悦点場からの眺めに配慮し、甲之島寺の敷地では、周辺京観に配慮 		
	河川望に配慮し、魅力的な水辺の見晴らし、見通し景観となるよう配置計画の		
	工夫等に努める。		
	主たる道路に面して、原則、塀又は柵を設置しない。やむを得ず設置する場合は、開放的		
塀・柵	で透過性の高い構造とするなど、周辺景観や敷地内の建築物等と調和した形態意匠とす	1	
	<u> వ</u> ం		
	照明演出を行う場合は、建物のファサードの美しさや魅力を高めるものとし、周辺の	夜間ガイド	
	まちなみの風景の一部となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、		
	周辺環境に配慮した輝度とする。		
	夜間照明を主たる道路に面して行う場合は、周辺景観やエリアのイメージと調和する		
夜間景観	よう夜間景観の形成に努める。		
	公園や広場などのパブリックスペースに隣接する敷地では、夜間照明は周辺の安全・		
	安心に寄与するよう努める。 国河に下仏母領機など歴史的な早期次派のエルマな角徴せて建筑物質がよる担合は		
	周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、		
	それと調和するよう配光や色温度に配慮する。 建物の壁自体を媒体として活用し、動的な変化や映像を創り出す照明演出について、	夜間ガイド ライン VI-18,23	
	建物の壁台体を媒体として活用し、動的な変化や映像を削り出り照明側面について、別に定めがある場合は、これによるものとする。	-	
	//コエート、ヒンンパスンスンスンス゚ロエネ、 ~4 ハルーよる ひひしょう	1	

	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川の 敷地で河川に面する建築物は、水面への映りこみに配慮した照明などによ り、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	夜間ガイド ライン VI - 32
工作物の建設等			
		地を設け、周辺への圧迫感や威圧感の軽減に努める。	解説 i-101
配置等		や隣接する公園等の公共空間からの見え方に十分配慮し、工作物に付属す	解説 i-101
		がある場合は、その周囲及び出入口等の緑化に努める。 のバランスだけでなく、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。	
		のパノンへにいてなく、同辺京観と調和するより、形態思圧を工大する。 「面だけでなく、主たる道路や隣接する公園等の公共空間から見える、工作	
		: 面にりてなく、主にる追踪で解接する公園寺の公共空間から兄える、工作 背面の形態意匠も工夫する。	解説 i-101
		は、圧迫感のある単調なものとならないよう、形態意匠を工夫する。	解説i-101
	周辺のまち	なみや工作物全体の形態意匠と調和のとれた色彩とする。	-
		体となった広告物やサインは、周辺景観や敷地内の建築物等と調和するよ 匠や設置位置を工夫する。	-
	材料は、汚	れが目立ちにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年により景観をそこないものとするよう努める。	解説 i-101
		対岸、橋上及び水上からの見え方を意識した形態意匠となるよう工夫する。	解説 i-101
外観	河川	堂島川や土佐堀川など舟運ルートが整備されている河川沿川の敷地では、 沿川のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工 夫するとともに、植栽などについても水辺と調和のとれたデザインとなる よう努める。	-
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物は、歴史的景観資源を象徴的に望めるよう資源との関係を意識したデザインとするなど、形態意匠を工夫する。	-
		主要な視点場からの眺めに配慮し、中之島等の敷地で河川に面する工作物の部分は、主要な視点場からの眺望範囲にアクセントカラーを用いないよう努める。やむを得ず、アクセントカラーを用いる場合は、シンプルにまとめるものとする。	角電 兑 i −112
	道路	景観上主要な道路からの <mark>見通し景観</mark> を意識して、沿道のまちなみと調和した形態意匠となるようファサードデザインを工夫する。	-
		行う場合は、工作物の美しさや魅力を高めるものとし、周辺のまちなみの となることを考慮して表現内容や表現方法を工夫する。また、周辺環境に 度とする。	夜間ガイド ライン VI - 36
夜間景観	光のまちづくり推進委員会での取り組みを踏まえ、護岸や橋梁等の良好なライトアップに努める。		
汉비泉戰	周辺に近代建築物など歴史的な景観資源やエリアを象徴する建築物等がある場合は、それと調和するよう配光や色温度に配慮する。		
	河川	主要な視点場からの眺めに配慮し、大川、堂島川、土佐堀川及び安治川に 面する工作物は、水面への映りこみに配慮した照明などにより、都市の魅力を高める水辺の夜間景観の形成に努める。	ライン VI-18,23 夜間ガイド ライン VI-32
(四女士工)			

- ・ 本市が都市景観委員会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができる建築物等であると認めた場合は、この基準外とすることができる。・ 他の重点届出区域と重複する敷地については、双方の基準を満たすものとする。